



InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアー 利用ガイド

InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアー

Version 3.2

利用ガイド

(0320W01)



はじめに

このたびは、NEC の InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアーをご利用いただき誠にありがとうございます。InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアーは、InfoCage FileShell 持出閲覧形式オプションで保護された持出閲覧形式保護ファイル (icfv ファイル) を閲覧するための専用のソフトウェアです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、製品の取り扱いを十分にご理解ください。

■ 商標について

- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- InfoCage は日本電気株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。
- 本書の一部、または全部を流用・複写することはできません。
- 本書中のサンプル画面で使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

■ 免責事項

本書および本システムは、ライセンス契約に基づいて使用することができます。

ライセンス契約で明示的に定められていないかぎり、日本電気株式会社は製品、およびその関連文書について、明示的にも暗黙的にも、商品性に関する保証、特定目的への適合性に関する保証、取り扱い、使用、または取引行為に伴う保証について一切の責任を負いません。

本書について




本書は本製品を正しく運用し、効果的に活用するための手引きです。運用を開始する前や運用中に、機能・操作を確認するためにご利用ください。

本書は、InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアーの利用者を対象としています。

また、本書は操作手順や画面の表示を主に Windows 10 の場合を例に記載しています。適宜、お使いのオペレーティングシステムに読みかえてください。

本文中の記号について

本文中では、説明、操作手順の他に以下の記号を使用しています。これらの記号の意味を正しくご理解になり、本書をお読みください。

項目	説明
 <i>Notice</i>	システムの取り扱いで守らなければならない事柄や特に注意すべき点、確認すべき点を説明します。
 参照	関連する内容が記載されているページを紹介しています。
 <i>Operation</i>	操作手順を示します。

用語の定義

本書では、システム操作の説明に以下のような用語を用いています。本書を確認するにあたって前提としてご理解ください。

項目	説明
持出閲覧形式保護オプション	InfoCage FileShell のオプション製品である「InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護オプション」のことです。導入することで、ファイルを読み取り専用で安全に外部に提供可能になります。また、必要に応じて後からファイルを削除する設定が可能です。
持出閲覧形式保護ファイル	持出閲覧形式保護オプションを使用してファイルを保護した状態のファイルです。ファイルは icfv 形式となり、専用のビューア (持出閲覧形式保護ファイルビューアー) を使用しないと開けません。またファイルにはパスワードが掛かっておりパスワードを知らないユーザは開くことができません。このファイルは後から削除する設定が可能です。
持出閲覧形式保護機能	持出閲覧形式保護機能は、ファイルを変換し新たに「持出閲覧形式保護ファイル」を作成します。その際、持出閲覧形式保護ファイルに対してファイルの有効期限や後から削除するように設定することが可能です。
持出閲覧形式保護ファイルビューアー	持出閲覧形式保護ファイルを参照することが可能です。持出閲覧形式保護オプションで持出閲覧形式保護ファイルに変換した際の設定に従い、ファイルを開く前に削除ファイルに関する情報を公開したサーバに対して有効期限や削除対象となっているファイルかどうか問い合わせをおこない、設定に従ってファイルを操作します。

目次

第 1 章	InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護オプション について.....	1
1.1	ダウンロードパッケージについて	1
1.2	動作環境について	2
第 2 章	注意事項.....	4
2.1	運用上の注意事項.....	4
第 3 章	持出閲覧形式保護ファイルの参照.....	5
3.1	持出閲覧形式保護ファイルの参照手順.....	5

1.1 ダウンロードパッケージについて

InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアーのダウンロードパッケージには以下のものがあります。

- * InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアーモジュール (x86 用)
- * InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアーモジュール (x64 用)
- * InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアー 利用ガイド (※本書)

InfoCage FileShell 持出閲覧形式保護ファイルビューアーのパッケージの構成は以下のとおりです。

■ 持出閲覧形式保護ファイルビューアー パッケージ内ファイル構成

```
/IcfViewer_x86 (または、IcfViewer_x64)  
├ IcfViewer.exe  
├ IcfViewer.exe.config  
├ IcfViewOnlyUtil.dll  
├ BringUpServiceApi.dll  
├ System.Runtime.WindowsRuntime.dll  
├ jp-JP  
├ zh-CN  
└ zh-TW
```

1.2 動作環境について

動作環境は以下のとおりです。

■ 持出閲覧形式保護ファイルビューアー

ハードウェア	
CPU	1.0GHz 相当以上の x86 互換アーキテクチャのプロセッサ
メモリ	512MB 以上
ハードディスク	クライアントインストールに 40MB 以上の空き容量が必要 保護の際には、対象ドライブに以下の空き容量が必要 [処理対象ファイルサイズ] * 2 バイト以上 (処理対象ファイルが存在するドライブ)
ネットワークインタフェース	100Mbps 以上(IPv4 のみ)
ソフトウェア	
オペレーティングシステム(*1)(*2)	Microsoft Windows 10 Pro (Anniversary Update[Version1607]) (32/64bit) Microsoft Windows 10 Pro (Creators Update[Version1703]) (32/64bit) Microsoft Windows 10 Enterprise (Creators Update[Version1703]) (32/64bit) Microsoft Windows 10 Enterprise 2015 LTSB (32/64bit) Microsoft Windows 10 Enterprise 2016 LTSB (32/64bit) Microsoft Windows 8.1 Pro (Update[KB 2919355]) (32/64bit) Microsoft Windows 8.1 Enterprise (Update[KB 2919355]) (32/64bit) Microsoft Windows 7 Ultimate (SP1) (32/64bit) Microsoft Windows 7 Enterprise (SP1) (32/64bit) Microsoft Windows 7 Professional (SP1) (32/64bit) Microsoft Windows Server 2016 Standard (64bit) Microsoft Windows Server 2012R2 (Update[KB 2919355]) Standard (64bit) Microsoft Windows Server 2012 (SP なし) Standard (64bit) Microsoft Windows Server 2008R2 (SP1) Standard (64bit) Microsoft Windows Server 2008R2 (SP1) Enterprise (64bit)
その他(*3)	Microsoft .NET Framework 4.5.2 以上 Microsoft .NET Framework 4.5.2 日本語 Language Pack(日本語 OS のみ) Microsoft .NET Framework 4.5.2 中国語(簡体字)Language Pack(中国語(簡体字)OS のみ) Microsoft .NET Framework 4.5.2 中国語(繁体字)Language Pack(中国語(繁体字)OS のみ) Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

(*1) Microsoft 社から提供される最新セキュリティパッチの適用をお奨めします。

(*2) 対象言語は、日本語・英語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)です。

(*3) 「Microsoft ダウンロードセンター」よりダウンロードする必要があります。
以下の Web サイトよりファイルをダウンロードしてから、インストールしてください。

(更新日:2017/10/04)

タイトル、URL	備考
Microsoft .NET Framework 4.5.2 https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=42642	Windows 10 および Windows Server 2016 を除く、記載されているオペレーティングシステムの利用時に必要です。 *Windows 10 および Windows Server 2016 には、Microsoft .NET Framework 4.6 が OS のデフォルトでインストールされています。動作に必要なため、削除しないでください
Microsoft .NET Framework 4.5.2 日本語 Language Pack https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=42641	
Microsoft .NET Framework 4.5.2 中国語(簡体字)Language Pack https://www.microsoft.com/zh-CN/download/details.aspx?id=42641	
Microsoft .NET Framework 4.5.2 中国語(繁体字)Language Pack https://www.microsoft.com/zh-TW/download/details.aspx?id=42641	

Microsoft Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ Update 3 RC
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=52685>

32bitOS 上では 32bit(x86)用
を、64bitOS 上では 64bit(x64)
用モジュールを適用してくださ
い。

第2章

注意事項

2.1 運用上の注意事項

- * PDF ファイルを持出閲覧形式保護ファイルにした場合、持出閲覧形式保護ファイルビューアーで参照するには Windows10 以上のオペレーティングシステムが必要です。

第3章

持出閲覧形式保護ファイルの参照

持出閲覧形式保護ファイルの参照について説明します。

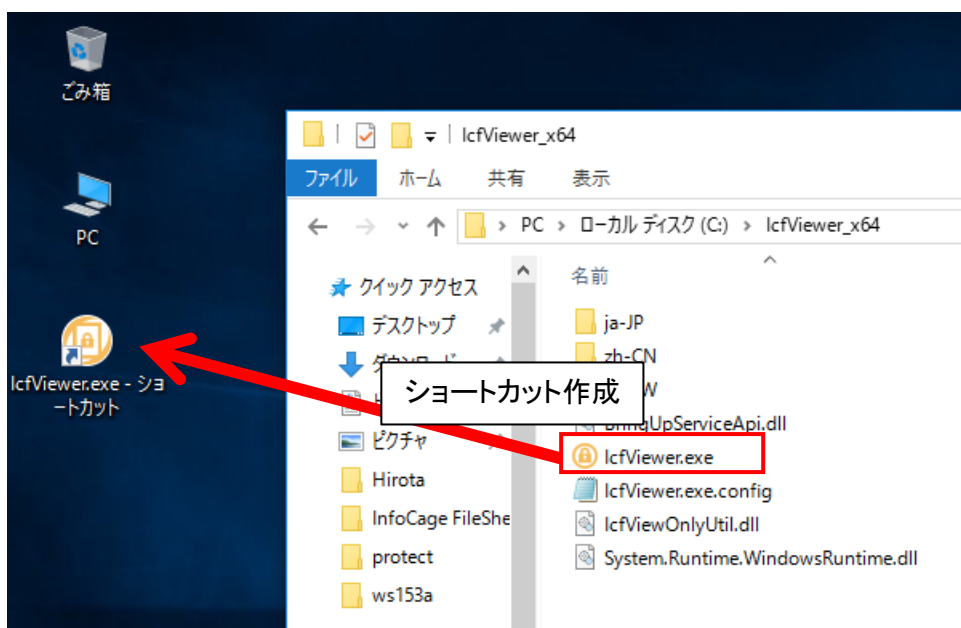
3.1 持出閲覧形式保護ファイルの参照手順

持出閲覧形式保護ファイルを参照する手順を記載します。

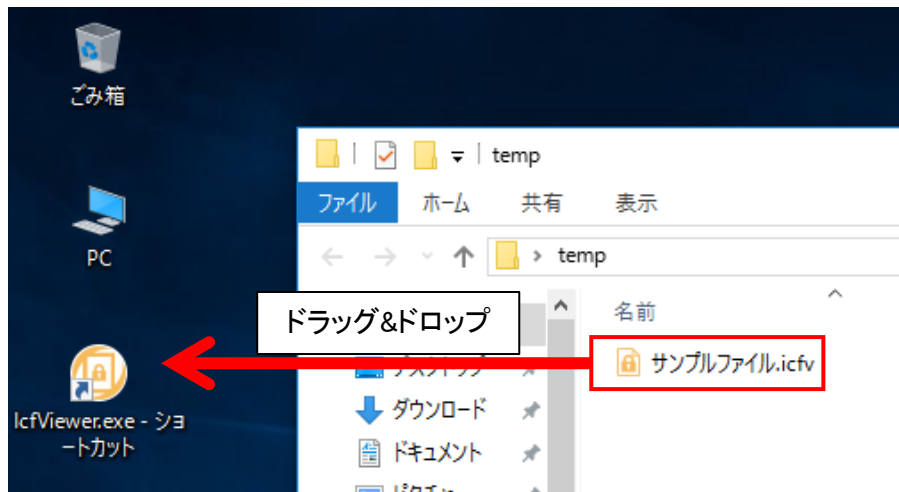
持出閲覧形式保護ファイルは専用のビューア(持出閲覧形式保護ファイルビューアー)でのみ参照することができます。

Operation

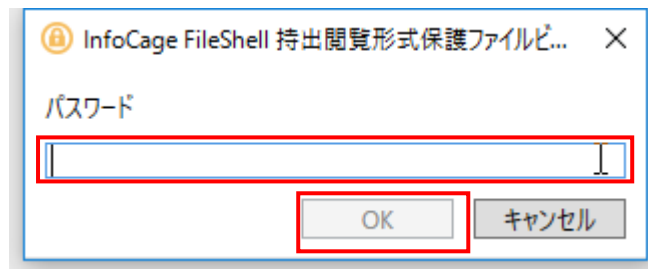
1. 持出閲覧形式保護ファイルビューアーを入手してください。持出閲覧形式保護ファイルビューアーは下記、NEC の FileShell 製品サイトからダウンロードができます。
<http://jpn.nec.com/infocage/fileshell/>
2. 持出閲覧形式保護ファイルビューアー(IcfViewer.exe)のショートカットをデスクトップに作成してください。
 - * 持出閲覧形式保護ファイルビューアー(IcfViewer.exe)に直接ドラッグ&ドロップしてファイルを開くことも可能です。



3. 手順 2 で作成したショートカットに持出閲覧形式保護ファイルをドラッグ&ドロップします。



4. パスワード入力画面が表示されます。持出形式保護ファイル変換時に使用したポリシー (FileShell 持ち出し形式保護ポリシー) に設定したパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。



5. 持出閲覧形式保護ファイルが参照できます(持出閲覧形式保護ファイルの変換元ファイルがテキストファイルの場合はツールバーは表示されません)

テキストファイルの場合



テキストファイル以外の場合



各項目の説明は以下の通りです。

番号	項目	説明
①	有効期限	持出閲覧形式保護ファイルビューアーで開いたファイルの有効期限を表示します。 有効期限が設定されていないファイルを開いた場合は、表示されません。
②	ツールバー	ドキュメントビューアに対して操作を行います。 左から以下の操作となります。 「印刷」「コピー」「コンテンツのサイズの拡大」「コンテンツのサイズの縮小」「100%」「ページ幅を基準に表示」「ページ全体を表示」「2 ページ表示」。 * 「印刷」「コピー」は常に無効となります。
③	ドキュメントビューア	持出閲覧形式保護ファイルの内容を表示します。 * テキストファイルについて、文字コードは自動で判別され ます。(文字コードは選択できません。) * PrtScr キーによる画面キャプチャは制御されません。

6. FileShell 持ち出し形式保護ポリシーの設定により、ファイルを表示しない条件に合致すると以下のようにメッセージを表示します(下記画面は規定回数パスワードを間違えたためにファイルを削除した場合です)。

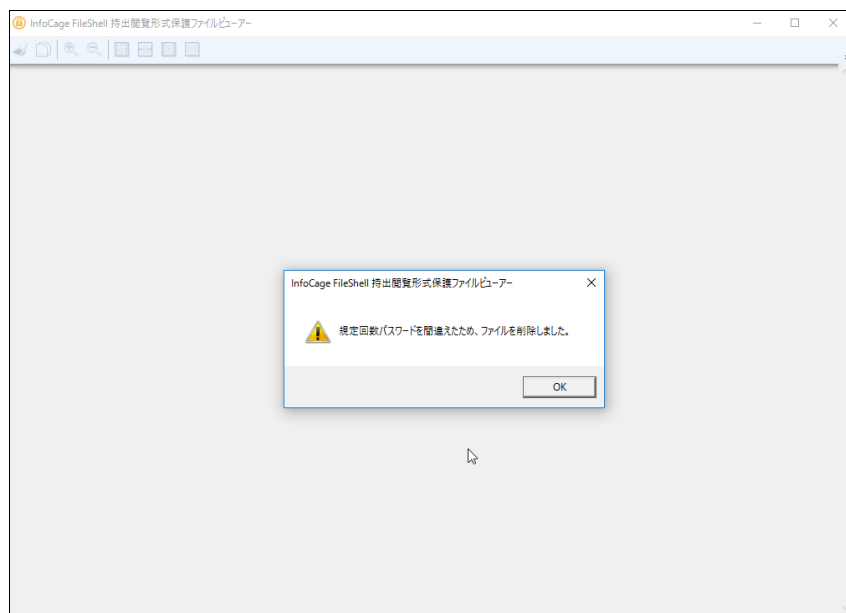
ファイルが表示できない条件は以下の通りです。FileShell 持ち出し形式保護ポリシーの設定によってはファイルを削除することもあります。

ファイルを表示しない条件

- ・指定した有効期限が切れた

ファイルを表示しないかつファイルを削除する条件

- ・指定した有効期限が切れた かつ 「有効期限の切れたファイルを削除する」が有効
- ・「次の回数連続してパスワードを間違えるとファイルを削除する」が有効で指定した回数続けてパスワードを間違えた
- ・「ファイルの後から削除機能を有効にする」が有効 かつ 提供元よりファイルの削除指示がされた



以上で、持出閲覧形式保護ファイルの参照は完了です。

InfoCage FileShell Ver 3.2
持出閲覧形式保護ファイルビューアー 利用ガイド

日本電気株式会社
東京都港区芝 5 丁目 7 番 1 号
TEL(03)3454-1111 (大代表)

Copyright© NEC Corporation 2010-2017.

日本電気株式会社の許可なく複製・改変等を行うことはできません。